

ISは終わったのか

取材映像で見る
シリア・イラクの
女性や子どもたちは今

「ISの首都」とも呼ばれたシリア・ラッカ。戦闘で町の中心はがれきと化していた。 写真提供：玉本英子

6月22日(土)

講師

アジアプレス大阪オフィス所属

玉本 英子さん

参加費
無料

13:30～15:30

コープこうべ生活文化センター
JR 住吉駅から南東へ徒歩約8分

知ってほしい。

同じ世界に生きる人たちのこと

中東地域を中心に20年以上取材。

テレビのニュース特集や、共著本多数、主な映像作品にアフガニスタンの女性を題材にした映画「ザルミーナ・公開処刑されたアフガニスタン女性」(2004)。

2017年「第54回ギャラクシー賞」報道活動部門の優秀賞受賞。

2019年「坂田記念ジャーナリスト賞」特別賞。

毎日新聞の大阪版・京都版に「漆黒を照らす」掲載中。

過激派組織ISはシリア、イラクの支配地域のほとんどを失ったと報道されていますが、人々に平和は訪れたのでしょうか。

ISの最大拠点だったシリア・ラッカと、ISに激しい迫害を受けたイラクの少数宗教ヤズディについて、昨年ノーベル平和賞を受賞したナディア・ムラドさんの故郷等、取材映像と写真を通してお伝えします。

ISに迫害を受けた少数宗教ヤズディの小学生たちと。

主催・お申込み：兵庫県ユニセフ協会

TEL 078-435-1605(平日の10時～16時)